

## 閉会挨拶（9月10日）

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、今後の予定のお知らせの前に一言申し上げます。

まず、ご登壇いただいた富山大学の金山先生、元えちぜん鉄道の伊東様、ひたなか海浜鉄道の吉田社長、長時間にわたりご参加いただいた大勢の視聴者の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

本日のセミナーの内容については、先ほど山内所長から講評がありましたので、私からは全く別のお話をしたいと思います。

本日ご登壇いただいた金山先生と私は、非常に長い付き合いであります。1989年に鉄建公団から出向していた金山先生と運輸省国有鉄道改革推進部のタコ部屋で一緒に仕事をして以来ですので、もう30年以上になります。

この時のタコ部屋はリニアモーターカーの山梨実験線に関する予算要求が仕事でしたが、その後鉄建公団に戻った金山先生は、運輸政策審議会における都市鉄道の整備に関する審議の事務方としてご活躍されるとともに、鉄道の「上下分離」について研究を続け、東大の家田先生のもとで博士号を取得されました。この金山先生の研究は、東急・相鉄・JR東日本の相互直通運転を実現させた都市

鉄道等利便増進法の礎をなすものであると私は考えております。

運輸総合研究所では、研究アドバイザーである森地茂先生のご指導のもと、「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査研究」などを実施しているところではありますが、同じく研究アドバイザーである金山先生の知見もお借りして、今後とも鉄道に関する調査研究に取り組み、本日のようなセミナーの場も活用して、皆様と共に考えてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。